

# すぎはら

杉原地区ふるさとづくり推進協議会だより

第212号

令和3年5月15日広報委員会 発行

電話 455 - 2570 (杉原公民館)

E-mail:sugiharakouminkan@city.toyama.toyama.jp



会長 平井 郁夫

( 前杉原地区ふるさとづくり  
推進協議会副会長 )

## 令和3年度 杉原地区 ふるさとづくり推進協議会 会長・副会長紹介

新緑の候、地区の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

ふるさとづくり推進協議会も新年度に入り、微力な私をはじめ新メンバーにてスタート致しました。何卒、力強いご支援を宜しくお願い致します。

昨年からのコロナの影響が続き今年度も先が見えない状況でございますが、行事をおこなうにあたり皆様とご相談させて頂きながら進めて参りたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



副会長 橋本 美義

(前杉原地区ふるさとづくり  
推進協議会会長)



副会長 中井 義則

( 杉原地区  
自治振興会会長 )



副会長 中川 清春

( 杉原地区 教育振興会会長  
杉原地区 自治振興会副会長 )



副会長 田作 茂和

(杉原自治公民館長会会長)

### 新任者紹介 ①新任の抱負 ②好きな言葉 ③趣味



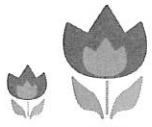
杉原小学校  
校長 堀 るみ子

- ①杉原に生きる全ての子供が安心して学び、杉原に愛着と誇りを感じられるよう努めます。
- ②人たることを忘るべからず
- ③読書・美術館巡り

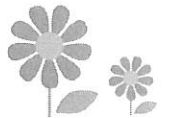


杉原中学校  
教頭 廣井 豊

- ①今年度末の統合に向けて、よりよい締めくくりができるよう精一杯努めます。
- ②水随方円
- ③ドライブ



# 令和3年度地区区長さん紹介



黒田  
黒瀬 裕治



井田  
高見 秀行



上井田新  
柳原 佳明



上井田  
吉川 仁性



下井田新  
松永 和久



寺家  
水無瀬 豊



杉田  
山口 幸伸



大杉  
寺跡 勝



滅鬼  
上野 克己



薄島  
西村 一夫



野飼  
谷口 洋幸



西神通  
島 直史



中神通  
前川 数雄



城生  
山下 秀敏



井栗谷  
小林 成吉



深谷  
田嶋 幸夫



丸山  
田中 進



# 令和3年度自治公民館長さん紹介



黒田  
中山 雅治



井田  
大窪 広彦



上井田新  
田畑 英明



上井田  
江尻 茂一



下井田新  
藤原 昌樹



寺家  
野村 康敦



杉田  
喜多 豊



大杉  
飯島 雅人



滅鬼  
江尻 達則



薄島  
西井 亮太



野飼  
谷口 功



西神通  
山口 正明



中神通  
金嶋 篤美



城生  
岩城 和喜



井栗谷  
田作 茂和



深谷  
宮嶋 実



丸山  
矢田 大輔

# 委員さん紹介



## 【広報委員会】

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 広報委員長<br>舟木 智洋 (井田) | 新村ますみ (寺家)  |
| 菊山 浩 (黒田)           | 高野 雅史 (大杉)  |
| 村上 和子 (黒田)          | 中沼 克美 (大杉)  |
| 中村 拓郎 (井田)          | 山岸 敦 (滅鬼)   |
| 赤星 優子 (井田)          | 植野由美子 (薄島)  |
| 喜多 豊 (杉田)           | 山岸 紀睦 (丸山)  |
|                     | 田作 裕美 (井栗谷) |

## 【文化委員会】

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 文化委員長<br>中野 哲男 (井田) | 毛利 孝娘 (杉田)  |
| 村上 光春 (大杉)          | 安部 伸一 (大杉)  |
| 中村 幸雄 (黒田)          | 佐々倉麻理子 (大杉) |
| 清涼 陽子 (黒田)          | 金松 真吾 (野飼)  |
| 南谷 智昭 (井田)          | 平野のり子 (中神通) |
| 長岡 令 (井田)           | 上田 順一 (上井田) |
| 大窪 秀一 (杉田)          | 宮嶋亜抄子 (深谷)  |



## 【体育委員会】

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 体育委員長<br>藤井 啓紹 (深谷) | 川田 湧太 (井田)   |
| 池内 栄二 (井栗谷)         | 新村あんり (井田)   |
| 村上 政一 (黒田)          | 加藤 直史 (杉田)   |
| 武内 文男 (井田)          | 新木 美鈴 (寺家)   |
| 高松一二三 (深谷)          | 寺林 和彦 (大杉)   |
| 加藤アイ子 (杉田)          | 宮本 恭子 (大杉)   |
| 山下 咲織 (杉田)          | 山口 光博 (西神通)  |
| 栗山 祥紀 (黒田)          | 竹島 和美 (城生)   |
| 柴田真由美 (黒田)          | 村本 涼 (深谷)    |
|                     | 田畑ゆかり (上井田新) |



## 杉原地区教育振興会からのお知らせ

杉原地区教育振興会では、高校生以下の生徒・児童の全国規模相当のスポーツ大会や文化大会に出場する人を応援しています。(該当する方の情報把握が難しくなっておりますので、情報提供を地区センターまでお願いします。電話 455-2570)

### ★第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会 (令和3年1月開催)

#### 須波 皓晴 (高2)

※学年は大会時

昨年は2年生でスタメンでしたが、3年生に連れていってもらったので、今年自分が後輩たちを東京体育館に連れて行きたいです。



### ★第100回全国高等学校ラグビー大会 (令和2年12月開催)

#### 横道 晴也 (高2)

※学年は大会時

全国での自分たちのレベルを改めて痛感しました。これからも「花園」という舞台に立って1勝でも多く勝てるように日々の練習をひとつひとつ頑張りたいです。







# お薬が出来るまで 舟木智洋

みなさん、お元気でしょうか？

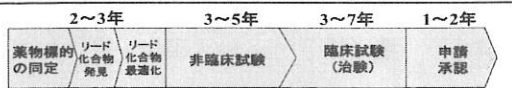
今回も身近なおくすりのお話しておつきあい下さい。

前回、新薬とジェネリック薬のお話をいたしましたがおくすりはどのような工程を経て世の中に出てくるのかというお話をしようと思います。

まずは、下の図を見て下さい。

これは一般的な医薬品（新薬）が販売されるまでの期間を簡単に示した図になります。

## 医薬品が出来るまでの期間



最短で9年、長くなると17年かかる

医薬品の開発（化学合成を行う場合）は、最初に医薬品として役に立ちそうな物質に「めぼし」をつけ、その構造などを化学的に解明し、その合成法を最適化するところから始まります。この段階で2年から3年の期間を要します。

薬になりそうな物質が決まったら、「非臨床試験」といって、人間でない動植物を使った実験を行い、その化合物の毒性や効果、副作用の有無などを確認します。この作業に3年から5年を要します。この段階で思わぬ毒性が見つかったり、効果があまりなかったりして開発を中断してしまう化合物がたくさんあります。

非臨床試験で良い結果が得られた化合物は、次の段階「臨床試験」に入ります。この試験は「治験」とも呼ばれ、いよいよ人間に投与する試験を行う段階となります。臨床試験には第1相（フェーズ1）から第3相（フェーズ3）までの段階が設定されています。

第1相では、病気ではない健康な人に投与され、主に、血液中の薬の濃度と時間推移、さらには尿中に排泄された薬（またはその代謝物）の量を測定することを目的に行われます。これを血中動態といい、薬を使う頻度（たとえば1日に何回使えばいいのか）を決める重要なデータとなります。

もちろん、薬を使ったあとに副作用が出なかったかなど、あわせて安全性を確認することも目的のひとつです。

第2相では、健康な人から得られた第1相の血中動態データをもとに、薬の量（用量）と使う頻度（1日何回か）を決めます。ここで初めて患者さまを対象に、治験薬の有効性と安全性を評価することが目的となります。特に、所定の用量の有効性と副作用のバランス（どのくらいの量を使えば、有効性が出て副作用が出にくい）の見当をつけるよう試みます。

第3相では、さらに多くの患者さんに投与して、その結果を検証します。高血圧や糖尿病や高脂血症の薬のように何年にもわたって使われる薬の場合は、長期間使ってみて、服用の期間中に、効かなくなったり、新しい副作用が出てくる可能性があるのかどうか確かめるため長期投与試験を実施します。この治験の期間で3年から7年の期間が必要とされています。もちろん、治験までの段階で、思わぬ副作用の発現や、効果が思ったほど期待出来ないなどがわかれば、開発が中断されることになります。

治験の結果が良好となれば、最終段階として、承認申請を行います。申請を行うと、PMDA（「医薬品医療機器総合機構」という）で審査が行われますが、この審査期間にさらに1~2年を要します。審査が問題なければよい承認となり、晴れてその医薬品が販売されることになります。

以上のようにお薬の開発は最短で9年、長ければ17年もの歳月を要するとても気の遠くなる工程を経ることによって世の中に出てくるのです。また、たくさんの候補の中から医薬品として完成に至るまでの確率は宝くじに当たるほどの低さだと言われることもあり、新薬はとても貴重なものなのだと感じますよね。新薬は値段が高いというのも、ご納得していただけるのではないかと思います。

もっとも、新型コロナウイルスの治療薬やワクチンは、かなり早いペースで承認までこぎ着けました。これは、「特別に例外」と言え、それだけに安全性や効能に今ひとつ心配な点があることも知っておく必要があると感じています。

それでは、今回はこれまでとしましょう。

## 令和3年度 行事予定

### 公民館行事についてのお知らせ

春季ビーチボール大会・地区敬老会・小学生男女ビーチボール大会は新型コロナの感染拡大防止のため中止することとなりました。他の行事については状況をみながら判断していきたいと思っております。参加を楽しみにされている皆さまには大変申し訳ございませんが何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

- 5月15日(土) 「すぎはら」だより第212号発行
- 19日(水) ①いきいきサロン
- 22日(土) ①公民講座「健康ウォーク」
- 6月 6日(日) 春季ビーチボール大会 **中止**
- 20日(日) 地区敬老会 **中止**
- 7月 7日(水) ②いきいきサロン「体験ツアー」
- 11日(日) 小学生男女ビーチボール大会 **中止**
- 15日(木) 「すぎはら」だより第213号発行
- 31日(土) パークゴルフ大会
- 9月15日(水) 「すぎはら」だより第214号発行

- 9月19日(日) 秋季ソフト・ビーチボール大会
- 25日(土) ①世代交流会「バスツアー」
- 10月17日(日) 地区運動会
- 11月15日(月) 「すぎはら」だより第215号発行
- 17日(水) ③いきいきサロン
- 27日(土) ②世代交流会「クリスマスケーキづくり」
- 12月12日(日) ニューススポーツ体験
- 令和4年
- 1月15日(土) 「すぎはら」だより第216号発行
- 22日(土) ②公民講座「手打ちそば教室」

杉原地区	人口	6,889人 (6,946人)	[令和3年3月末日現在]
	世帯数	2,462戸 (2,431戸)	( )内は昨年度